

「愛する真の父母に」

わたしは万軍の主（ヤハウエ）である。わたしは万軍の主である。わたしは万軍の主である！

わたしの愛する息子よ。わたしの愛する息子よ。わたしの愛する息子よ！

わたし、万軍の主は、真の父母を愛している。この上なく愛している。この上なく大切である！

何をもって感謝と慰労の言葉を、息子に伝えることができようか。愛しているという言葉より、もっと良い言葉があれば、

その言葉を借りたいが、思い浮かばない！

真の父母は、わたしの心の中の深いところに根付いているが、その愛を表現できない。真の父母は、今すべてのことに勝利し、すべてのことを軌道に乗せたがゆえに、今や人類の救世主であり、メシヤであり、その立場は、まさしく王の立場ではないだろうか！

キリスト教とその他の教団が決意文を採択し、真の父母に侍っていくことを満場一致で決議して宣布したので、真の父母は、人類の真の父母の位置に就くのがふさわしく、そのみ旨を成すことを、万軍の主は願う、願う！

もちろん、多くの世人たちは理解できないかもしれないが、内的立場は立てなければならぬがゆえに、万軍の主は、愛する真の父母を王の位置に推戴する！

そのあらゆる獄苦の立場、受難の立場を、万軍の主に代わってすべて払ってくれたので、万軍の主の心情は、感謝と、感激と興奮と有り難さに満ち、これからは、真の父母にすべてのものを譲り渡してあげたい、すべてのものを相続してあげたい！

わたしの愛する真の父母！

神は、心で多くの哀訴の日々を送ったが、長い間この機会を迎えることができなかった！

今、万軍の主の心情をくみ取ってくれた。それゆえ、この大切に貴重な時間に、わたしが愛する真の父母に、感謝の心を伝えようと思う次第である。

真の父母、わたしの愛する真の父母！

わたしの懐の中に抱いて、抱き締めて、離したくない真の父母！

二本の足で歩くことがもったいない！

夜通し抱き締めて、心のすべてを打ち明けたい！

万軍の主は信じる、真の父母を信じる。

その間の胸痛む事情、経験した苦難とつらさを……。

主は知っている、記憶している、すべて見てきたのである！

すべてのことが神の責任であることを

真の父母が耐え忍び、勝利の基準を立てたのだから、

どうして万軍の主が真の父母を忘れることができようか。

ありがとう。感謝している。本当に御苦労だった！

わたしの愛する真の父母、万歳！

人類の救世主、万歳！万王の王、真の父母、万歳！

万軍の主が、わたしの愛する真の父母に切実に伝える。

(二〇〇一年十二月二十八日)